

4月1日、市内初の小中一貫校となる「あそ野学園義務教育学校」が、旧田沼西中学校の敷地内に開校しました。



▲あそ野学園義務教育学校の校章

# 議会から こんにちは

2020 **5.1**  
令和2年



さの  
市議会だより

[www.city.sano.lg.jp/gikai/](http://www.city.sano.lg.jp/gikai/)

## 令和2年2月定例会

- 令和2年度予算案を可決
- 予算審査特別委員会では延べ27人が質疑
- 一般質問に18人が登壇

佐野市議会

検索



▼佐野市議会の様子をライブ中継と録画により映像配信しています。

佐野市議会スマート中継

検索



# 令和2年度の予算案を審議、可決

令和2年度予算は、「令和2年度佐野市行政経営方針」及び「令和2年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対する質疑に高橋功議員(蒼生会)、岡村恵子議員(日本共産党議員団)、篠原一世議員(政友みらい)、田所良夫議員(新風)、木村久雄議員(公明党議員会)(以上質疑順)の5人が登壇しました。

また、議員全員で構成される予算審査特別委員会では、一般会計、各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の予算案に対し、3月13日、16日、17日、18日の4日間にわたり延べ27人の委員による質疑が行われました。その結果、新年度予算全7議案を可決し、併せて「令和2年度予算審査要望書(5ページに記載)」を取りまとめました。



市長の予算大綱説明

※2月定例会の全日程において、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、全員(傍聴者を含む)にマスクの着用を義務付けました。

## 予算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます!)



副委員長  
慶野 常夫



委員長  
本郷 淳一

### 佐野市議会 議会中継 (令和2年)

「令和2年第1回(2月)定例会・  
常任委員会・予算審査特別委員  
会」からご覧ください。



## 予算審査特別委員会質疑者一覧

一般会計			
発言 順序	氏名	発言 順序	氏名
1	菅原 達	10	横井 帝之
2	鈴木 靖宏	11	高橋 功
3	小倉 健一	12	久保 貴洋
4	若田部 治彦	13	山菅 直己
5	岡村 恵子	14	鶴見 義明
6	早川 貴光	15	横田 誠
7	田所 良夫	16	川嶋 嘉一
8	亀山 春夫	17	飯田 昌弘
9	金子 保利	18	木村 久雄

## 特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計

発言 順序	氏名	発言 順序	氏名
1	鈴木 靖宏	6	金子 保利
2	岡村 恵子	7	飯田 昌弘
3	木村 久雄	8	田所 良夫
4	菅原 達	9	若田部 治彦
5	鶴見 義明		



予算審査会場の様子

# 令和2年度予算の概要（当初予算額）

一般会計	485億5,000万円
特別会計	253億6,920万円
水道事業会計収入	30億921万円
” 支出	40億5,726万円
下水道事業会計収入	58億4,415万円
” 支出	68億784万円

（1万円未満四捨五入）

※公共下水道事業特別会計及び農業集落排水事業特別会計は、令和2年度から公営企業会計（下水道事業会計）に移行しました。

## 議 会 費

<b>議員人件費</b>	2億1,650万円
議員24名の人件費	
<b>職員人件費</b>	7,384万円
議会事務局職員9名の人件費	
<b>政務活動支援事業費</b>	720万円
議員一人あたり年間30万円（月額2万5千円）の政務活動費を交付する費用（議員24名分）	
<b>議会運営総務事務費</b>	522万円
議会運営に関する諸費用	
<b>会議録作成事業費</b>	1,035万円
会議録作成費及び会議録検索システム使用料など	
<b>議会だより発行事業費</b>	335万円
さの市議会だよりの印刷費用（年4回発行）	
<b>常任委員会活動支援事業費</b>	0円
常任委員会の行政視察の旅費 ※令和元年台風第19号の災害の復旧・復興の費用に充てるため、令和2年度の常任委員会の行政視察は行いません。	
<b>議会映像配信事業費</b>	564万円
定例会の映像配信に要する費用	
<b>全国市議会議長会参画事業費、ほか7事業</b>	207万円
全国市議会議長会負担金など	
<b>計</b>	<b>3億2,417万円</b>

（注）各事業費の1万円未満を四捨五入しているため、実際の数値と異なることがあります。



# 令和2年度予算審査要望書

## (防災・減災対策の強化)

1 令和元年10月の台風第19号は、気象災害として本市に甚大な被害をもたらした。この被災経験を踏まえ、全町会での自主防災組織の設置、防災士の増員、地域担当職員制度を活かした地域と行政の連携強化に努められたい。また、被災状況を記録し、地域住民と情報共有を図るとともに、新たな洪水浸水想定区域を追加するハザードマップの更新に当たっては、二次避難や避難経路を考慮した避難所の見直しをされたい。

今回の災害においては、必要な情報の伝達不足や遅延に対する被災者の意見が多く聞かれた。令和2年度からとちぎテレビでのデータ放送を開始する予定であるが、人それぞれ情報媒体が異なるため、より多くの手段を用い、より多くの市民に行き届くよう情報の伝達強化に努められたい。

さらに、普通河川については、護岸の復旧・強化、堆積土砂の浚渫<sup>しゅんせつ</sup>などを早期に完了されたい。また、国・県が管理する一級河川については、河川改修、堤防強化、堆積土砂の浚渫などの早期完了を要望されたい。

## (避難行動要支援者管理システム導入の検討)

2 令和元年台風第19号による被災を経験し、災害発生時においては、高齢者や障がいのある方などで自ら避難することが困難な方々の安全確保がいかに重要であるか改めて認識したところである。

そこで、義務付けられているのが避難行動要支援者名簿の作成であり、この名簿は、避難の情報伝達、避難の支援、安否確認などに活用されることから、最新の情報に更新し、正確な情報提供に資することが求められる。このようなことから、避難行動要支援者名簿を効率的に作成し、平常時のデータ更新を容易にするために、避難行動要支援者管理システムの導入に向けた検討を進められたい。

## (義務教育の充実及び学校跡地の利活用)

3 令和2年4月にあそ野学園義務教育学校が開校することに伴い、本市においては、施設一体型の義務教育学校と施設が分離している小中学校が併存することとなる。そこで、義務教育学校と小中学校を比較検証してそれぞれのメリット・デメリットを把握し、メリットを活かすとともに、デメリットに対しては視点を改めてメリット化し、これらを相互に活用することにより本市の義務教育の更なる充実を図られたい。

また、田沼西中学校区の小学校6校が閉校となるが、学校は、地域のコミュニティとして、災害発生時には地域の防災拠点として、重要な役割を担っていることから、閉校後の跡地の利活用については、地域の実情を踏まえ、地域の意向・要望に沿えるよう十分に検討し、速やかに方針を示されたい。

## (新たな産業団地の開発整備)

4 急速な少子高齢化による生産年齢人口の減少は、若年層の労働力不足や採用難などの雇用問題の深刻化を招き、地域経済の衰退に拍車をかけることとなる。

若年層の流出を抑制するには、身近な場所での安定した雇用の創出が肝要であり、本市の強みである高速交通の利便性を最大に活用するためにも、新たな産業団地の開発整備に注力されたい。また、地籍調査は、土地の有効活用を促進する上で効果を発揮するため、新たな産業団地の開発や企業の進出等が容易となるよう、将来の発展を見据えた調査実施地区の選定を行い、発展性のある地区から優先的に実施されたい。



飯田 昌弘 議員(蒼生会)

安全で安心な住みよいまちづくりを目指すインフラ整備について

**Q** 建設業界、建設関連業界に協力や支援をいただきながら、官民連携して魅力ある安全で安心な住みよいまちづくりに取り組むためには、業界への安定的な事業の供給が必要となる。発注時期の平準化等を含め、官民連携の在り方についてどのように考え、取り組むか伺いたい。

**A** 都市建設部長

建設業界やその関連業界は、地域のインフラ整備維持の担い手であり、地域社会の安全、安心の確保を担い、また地域雇用の支えになっています。台風第19号の災害時は、応急復旧など迅速な対応をしていただき、市民生活の安全確保を担うなど地域になくはならない存在です。建設業界やその関連業界に年間を通じて仕事量の変動を少なくし、雇用の安定化が図られるよう、早期発注や適正な工期設定、また計画的な設計、積算、他の工事との発注時期の調整などを図り、工事の平準化に努めたいと考えます。

その他の質問

☆高齢者福祉対策と  
応について  
☆保険者努力支援制  
度について



横田 誠 議員(新風)

クリケットタウン佐野  
創造プロジェクトについて

**Q** 平成28年度から5年の事業期間満了後、佐野市国際クリケット場を起点とした本プロジェクトの展望について見解を伺いたい。

**A** 市長

地方創生推進交付金を活用しての本事業は、来年度が最終年度となります。交付金事業としての最終年度である令和2年度に、目に見える形でにぎわいづくりや、仕事づくりの成果を上げることにより、交付金事業終了後の令和3年度以降もクリケットをきっかけとしての世界とつながる可能性を持つ国内唯一の自治体として、佐野市への新しい人の流れや、新たな仕事を創出し、佐野市の稼ぐ力を高めることにより、その成果を市民に還元し、町全体が活気にあふれる佐野市づくりに邁進します。

その他の質問

☆災害対策について



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

2度と災害をおこさない  
河川の復旧・改修と被災者  
支援について

**Q** 越水しても水の勢いで侵食しない堤防づくり、耐越水堤防工法が有効だとの声が上がっている。今回の改修で県に対し、この工法の導入を求めべきだと考える。秋山川が河川激甚対策特別緊急事業ですすめられることで国の補助が55%から70%にかさ上げされ、15年間の計画が5年間で推進するというが、河川激甚対策特別緊急事業で県がどのように改修しようとしていると聞いているか。

**A** 都市建設部長

県の秋山川河川については、決壊した2か所の本復旧を、越水に耐えうる工法の一つである※巻堤で行うとのことです。また、河川激甚対策特別緊急事業の位置づけの採択を受け、事業の着手をし、今回決壊した場所を含め、延長で約3kmの区間の河川改修の整備となると聞いています。

その他の質問

☆公立の放課後児童  
クラブの14か所の  
民営化について  
☆多胎児育児の支援  
について

※巻堤とは・・・  
堤防全体をコンクリート  
やアスファルト等で覆う  
こと。



鈴木 靖宏議員(蒼生会)

(仮称)有償復旧復興  
ボランティア登録制度  
創設について

Q 復旧工事等は、入札参加申請した事業者のみが行っている状況であり、今回の災害における復旧工事は大規模災害に集中し、中規模、小規模、重機を必要とする災害復旧が遅れたように感じる。資格を持つ個人事業主や小規模事業者等が簡単な登録制度に登録し、有資格者による有償、実費弁償をするボランティア制度を提案するが、当局の考えを伺いたい。

A 行政経営部長

ご提案の有償ボランティア制度は、復旧に向けて加速化が期待でき、大変有用と考えられます。私有地における復旧活動の有償ボランティアの活用については大変有効であり、被災者支援の一助となると考えます。今後は、他自治体の状況を調査するとともに、関係部局と協議するなど、総合的に検討したいと考えています。

### その他の質問

- ☆市内排水機場について
- ☆防災協力農地制度について
- ☆気象警報・注意報について



菅原 達議員(公明党議員会)

災害を契機とした  
「支え合いのまちづくり」  
の推進について

Q 未曾有の災害に直面しボランティア活動に励む中で、共助の大切さを身に染みて感じた。

防災の基本は自助・共助だとよく言われるが、現実には自助ができない方もいて、災害を契機とした共助への方向転換が求められていると言える。

支え合いのまちづくりを推進するためには、企業、民間施設、市民、行政が協力し合う必要があり、その動機づけの拠り所となる共通理念として、(仮称)支え合いのまちづくり条例を制定すべきでは。

A 行政経営部長

市民、事業所、町会、自主防災組織及び市の取り組みを明らかにすることにより、災害に強い支え合いのまちづくりを実現することができると考えています。自治基本条例との整合性や先進事例を参考に検討を始めたいと考えています。

### その他の質問

- ☆命を守る治水について



亀山 春夫議員(政友みらい)

今後の防災・減災対策  
について

Q ハザードマップの更新と旗川沿いの浸水想定区域を新たに加えたマップを7月までに市内全戸に配布すると聞いたが、地域ごとの避難場所の話し合いや高齢者など、避難誘導は誰がどのようにするのかなどの地域との連携はどのようにするのか伺いたい。

A 行政経営部長

昨年の12月中旬から今年の2月中旬にかけて、市内20地区で町会や自主防災組織の役員の方などと意見交換会を開催しました。

避難所や要配慮者の避難の在り方については、町会役員が要配慮者全員に連絡しました。

今後も町会長や自主防災組織が開催する防災講話や防災訓練などを通し、また台風対応の事例を踏まえ、各地域に即した避難の在り方について引き続き周知を図りたいと考えています。

### その他の質問

- ☆作原沢入線観光開発について
- ☆台風第19号被害の早期復旧について





本郷 淳一 議員(公明党議員会)

天明鑄物のまちづくりについて

**Q** 天明鑄物のまちづくりを推進する本市にとって、天明鑄物の商標登録は不可欠であり、その対応が急務である。商標登録の必要性と取り組みへの思いを伺いたい。

**A** 産業文化部長

天明鑄物を商標登録することは、ブランド力を高め、鑄物事業者にとっても有益であると考えます。

ご指摘のとおり、天明鑄物のまちづくりを進める上で鑄物事業者の活動を守るためにも、商標登録は不可欠であり、市として支援すべき喫緊の課題と捉えています。

行政が出願することはできませんので、まずは特許庁の出張説明会を要請し、関係者が商標登録についての共通認識を持つことから、登録に向けての具体的な取り組みを進め、早期実現を目指したいと思えます。

その他の質問  
☆台風第19号の復旧・復興について



▲天明鑄物



木村 久雄 議員(公明党議員会)

環境政策について

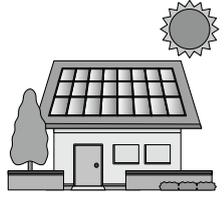
**Q** 太陽光発電設備の規制について、佐野市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和条例では、500㎡以上に関しては届出の提出が必要であるが、500㎡未満でも発電設備を把握できるように対象を下げることはできないか伺いたい。

**A** 市民生活部長

安定的に発電を行うことや、メンテナンス等のため太陽光パネルの間やフェンス等の間にスペースを設けるため、低圧の事業でも500㎡以上の面積が必要となることが多く、条例に基づき提出された届出のほとんどを低圧の事業が占める状況です。

また、太陽光発電事業は、発電出力が50kwを僅かに下回るよう設定した計画が多いと考えます。届出対象を500㎡未満としても、新たに届出対象となる設置事業の件数は少ないと推測でき、当面は現行の制度で運用したいと考えます。

その他の質問  
☆健康福祉政策について



川嶋 嘉一 議員(政友会)

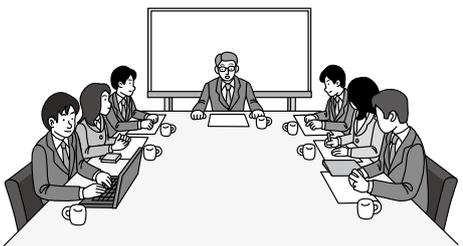
今後の防災体制の充実等について

**Q** 市の組織として危機管理体制を強化するため、そして関係機関との連携をスムーズに進めるために、外部からの危機管理に精通した人材を招聘したいと考えているということだが、その内容について伺いたい。

**A** 市長

危機管理に精通した人材としては、災害対策などの危機対応に専任することができる方、防災及び災害等に対する知識と経験、そして技能を兼ね備えた方を外部から招聘して、本市の危機管理能力を高めたいと考えているところです。職名は危機管理監としまして、有事においては強いリーダーシップの下、迅速かつ的確に対応していただきたいと思います。

その他の質問  
☆インクルーシブ教育システムについて





早川 貴光 議員

災害対応における今後の体制について

**Q** 佐野ケーブルテレビではデータ放送で秋山川河川の水位計と大橋のライブ映像を見ることができるとありますが、発災当時、水位計は故障し、ライブカメラの映像は表示されない状態だったと伺った。ケーブルテレビと連携して情報を是正するといった取り組みを行っていくべきだが、当局の見解を伺いたい。

**A** 行政経営部長

水位計の故障により正確な水位の状況が表示されないことは把握していましたが、是正するなどの対応ができていませんでした。今後は、協定に基づいて適切な連携を図りたいと考えています。

その他の質問

☆UDFフォントの活用状況について



慶野 常夫 議員(政友みらい)

新型コロナウイルス感染症対策と高齢者の予防接種の現状と今後について

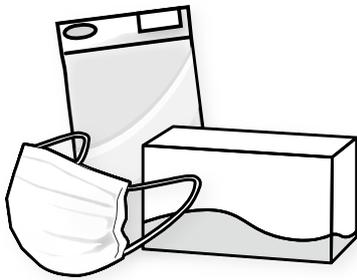
**Q** 現在国内では極端なマスク不足が生じており、ドラッグストアなどで品切れとなっている。まれに入荷してもすぐに売り切れてしまう状況である。また、ネットではかなり高額で転売をされているとのことである。本市でのマスク備蓄について伺いたい。

**A** 健康医療部長

マスクについては、国内のメーカーにおいてフル稼働により増産していると報道がありました。議員ご指摘のとおり、今日においてもマスクや消毒液は不足している状況です。このような状況の中、市が保有するマスクについては、医療機関や教育機関などからの要請があった場合には優先的に拋出し、活用を図りたいと考えています。

その他の質問

☆台風第19号による被災からの復旧・復興について



高橋 功 議員(蒼生会)

農地の復旧について

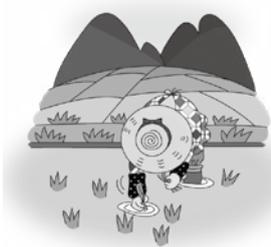
**Q** 17か所の取水堰が被害を受け、今後復旧復興に大変な状況であるが、農地の復旧方法と時期等を具体的に伺いたい。

**A** 産業文化部長

農地等の復旧方法ですが、農地はもとの表土のところまで堆積土砂のすきとを行ない、その後耕起を実施し、耕作可能な状態にする計画です。また、流水等により表土が流出した農地は、堆積土砂の撤去後、耕作土を盛土する計画です。復旧の時期ですが、今年の作付に間に合うように復旧工事発注等の準備を進めています。時期を確約できるものではありません。近接する河川が甚大な被害を受けている箇所は、河川の堤防築堤工事等が終わらないと復旧が難しいので、復旧工事は今年の秋以降になる予定です。

その他の質問

- ☆災害廃棄物の処理状況について
- ☆林業被害について
- ☆ボランティア募集活動について
- ☆大規模災害に対応した今後のまちづくりについて





小倉 健一 議員

デマンド交通(バス)事業  
について

**Q** 4月からデマンドバスの本格導入と  
いうことだが、登録、乗降方法など、  
市民に分かりやすく周知徹底されるべき  
と考える。当局の考えを伺いたい。

**A** 市民生活部長

デマンド交通は、これまでの路線運  
行の利用方法と異なり、事前の登録と予  
約が必要となります。こうしたことから、  
事前に登録と予約がない場合、利用した  
いときに利用することができませんので、  
本市としても、登録、乗降方法の周知は  
大変重要なことであると考えています。

今後は、広報紙や回覧などによる周知  
に加え、町会の会議や高齢者の集まりな  
どに職員が出向  
き、利用方法につ  
いての丁寧な説明  
を行い、周知を図  
りたいと考えてい  
ます。

その他の質問  
☆災害対応について  
☆小中一貫校整備計  
画による環境の変  
化について



▲ 4月2日に運行を開始した、デマンド交通  
「フルーツ吾妻線」の車両



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

教育行政について

**Q** 変形労働時間制というものは、公立学  
校の場合、繁忙期の振替を夏休みに  
まとめるようにするのが基本である。し  
かし、教員にとって本当に夏休みとい  
うのは閑散期なのだろうかという疑問があ  
る。夏季休暇の先生方の勤務実態とい  
うのは、どのような形の勤務になっている  
のか。

**A** 教育長

夏期休業期間中の勤務形態は、通常  
どおり7時間45分となっています。児童  
生徒の登校はないものの、資質向上のた  
めの研修会あるいは家庭訪問、教育相談、  
個別の学習指導、職員会議、プール指導、  
部活動指導等々を行  
っているところです。  
それゆえ、教職員に  
とって、夏季休業期  
間中における閑散期  
は存在しないものと  
認識しています。

その他の質問  
☆台風第19号災害に  
ついて



横井 帝之 議員(新風)

児童・生徒の学習環境  
について

**Q** ともに活動する交流及び共同学習は、  
障がいのある子供にとっても障がい  
のない子供にとっても、経験を深め、社  
会性を養い、豊かな人間性を育むととも  
に、互いを尊重し合う大切な学ぶ機会と  
なる。交流授業等では35名を超える人数  
で行うケースがある。きめ細やかな対応  
を充実させるため、対応策として補助員  
を2名にする提案をしたいが、見解を伺  
いたい。

**A** 教育長

特に小学校低学年において、35名を  
超える児童生徒のクラスに補助員として  
2名を配置することは、児童生徒一人ひ  
とりの学習活動の充実、教師のきめ細や  
かな指導の実現という点から大変重要な  
ことであると考えており、必要人数の確  
保など、さらなる人  
的環境の整備に向  
け、県の教育委員会  
にも要望したいと考  
えています。

その他の質問  
☆佐野市立小中学校  
適正規模・適正配置  
基本計画(後期計  
画)について  
☆佐野市子どもクラブ  
運営委託について  
☆台風第19号に係る  
商工業への支援に  
ついて



金子 保利 議員

地方公務員法と地方自治法の二部改正について

**Q** 地方公務員法の改正により町会長と環境衛生委員はどのようになるか。

**A** 行政経営部長

町会長や環境衛生委員は私人ということになります。これまで同様、市の事業にご協力頂きたいと考えています。

その他の質問

☆佐野市の防災、減災の対応と取組みについて

お詫び

私の一般質問「二つの災害ボランティアセンター」の中で、私の認識不足により事実に対する発言を行い批判したことにより、日本クリケット協会並びに佐野駅南ボランティアセンター、そして関係者の皆様方に多大なご迷惑と不愉快な思いを抱かせてしまいました。心よりお詫び申し上げます。

また、佐野市が進めているクリケットを活用した地方創生プロジェクトは、重要な事業であり、日本クリケット協会には全面的にご協力を頂いていることを認識いたしました。

さらに、災害ボランティアの活動についても認識不足があり、個人名をお出ししてしまい誠に申し訳なく思っております。深く反省し、お詫び申し上げますとともに、災害復旧にあたり、関係者の皆様には、広く佐野市の復旧にご貢献頂きましたことを感謝申し上げます、お詫びと致します。



田所 良夫 議員(新風)

台風第19号による災害の復旧復興について

**Q** 旗川河川越水対策と河川改修に向けたい。進捗状況に対する市の認識を伺いたい。

**A** 都市建設部長

1級河川旗川を管理している栃木県に越水対策と河川改修の進捗状況について確認しました。

越水対策については、現在、堆積土砂を撤去するしゅんせつ工事及び護岸の復旧工事などの早期完成に向けて、現地調査や河川内の土地所有者との交渉などを行っているとのこと。河川改修計画については、地元住民の声を聞きながら、河川を管理している国や栃木県と調整を図りたいと考えています。

その他の質問

☆地方創生について



久保 貴洋 議員(蒼生会)

あそ野学園義務教育学校開校に伴い閉校になる学校について

**Q** 閉校になる各学校の学校施設個別の活用方針の策定について伺いたい。

**A** 総合政策部長

閉校後の跡地活用の方向性を区分し、その区分ごとに活用方針を定め、適合する施設を選定することを考えています。

方針の対象施設は、合計12校で、跡地活用の方向性は、「佐野市学校跡地等活用にあたっての基本方針」に定める公共施設としての活用、民間等施設としての活用のほか、小さな拠点づくりとしての活用を加えた3つに区分します。

公共施設としての活用では、義務教育学校の周辺に位置する施設をバックヤードとして活用し、小さな拠点づくりとしての活用では、山間地域の集落生活圏に必要な生活サービスを維持する拠点の形成、民間等施設としての活用では、民間事業者等から地域活性化につながる活用

方策を公募し、施設の売却または貸付けを考えています。

その他の質問

- ☆あそ野学園義務教育学校開校について
- ☆有害鳥獣被害対策について
- ☆県道整備に合わせた市道整備による地域の安全確保について

## 令和2年2月定例会 審議された議案等と結果

2月定例会は、2月28日(金)から3月23日(月)までの25日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。令和2年度予算に係る議案は、4ページをご覧ください。

議案番号等	件名(内容)	議決結果	
議員案第1号	佐野市議会政務活動費の交付に関する条例の改正について(15ページに記載)	原案可決	賛成全員
議員案第2号	佐野市議会委員会条例の改正について(15ページに記載)	原案可決	賛成全員
報告第1号	市長の専決処分事項報告について【令和元年10月14日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第2号	市長の専決処分事項報告について【令和元年10月23日に発生した車両損傷事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
報告第3号	市長の専決処分事項報告について【令和2年1月15日に発生した物損事故についての損害賠償の額の決定及び和解】	報告	—
議案第1号	市長の専決処分事項承認について【所有権移転登記手続請求調停事件に関する裁判所の調停案の受諾】	承認	賛成全員
議案第2号	教育長の任命について【岩上日出男氏の任期満了により後任者に津布久貞夫氏を任命】	任命同意	賛成全員
議案第3号	教育委員会委員の任命について【内田圭子氏の任期満了により後任者に同氏を任命】	任命同意	賛成全員
議案第4号	教育委員会委員の任命について【笹川敏男氏の任期満了により後任者に川副令氏を任命】	任命同意	賛成全員
議案第5号	公平委員会委員の選任について【青田裕 <sup>ひろし</sup> 氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成全員
議案第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【田澤知行氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成全員
議案第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【大橋國男氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成全員
議案第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【栗原典子氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成全員
議案第9号	固定資産評価審査委員会委員の選任について【福田文子氏の任期満了により後任者に同氏を選任】	選任同意	賛成全員
議案第10号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について【地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第11号	佐野市部及び行政機関等設置条例等の改正について【組織機構の再編を実施するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第12号	佐野市印鑑条例の改正について【成年被後見人の印鑑登録について所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第13号	佐野市立あそ野学園義務教育学校の開校に伴う関係条例の整備について【佐野市立あそ野学園義務教育学校の開校に伴い、所要の規定を整備するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第14号	佐野市固定資産評価審査委員会条例の改正について【行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件名(内容)	議決結果	
議案第15号	佐野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【学校運営協議会を設置するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第16号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について【市長、副市長及び議会の議員の令和元年12月以降に支給する期末手当の支給率を改めるための関係する条例の改正】	原案可決	賛成多数
議案第17号	佐野市職員の給与に関する条例及び佐野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の改正について【給料表、勤勉手当の支給率等を改め、及び災害派遣手当を支給するための関係する条例の改正】	原案可決	賛成全員
議案第18号	佐野市手数料条例の改正について【住民基本台帳法、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律及び建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の改正に伴い、関係する手数料を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第19号	佐野市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の改正について【組織機構の再編を実施するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第20号	佐野市立学校設置条例等の一部を改正する条例の改正について【佐野市立葛生義務教育学校の設置の日を変更するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第21号	佐野市災害弔慰金の支給等に関する条例の改正について【災害弔慰金の支給等に関する法律及び災害弔慰金の支給等に関する法律施行令の改正等に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第22号	佐野市保育所条例の改正について【佐野市堀米保育園を廃止するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第23号	佐野市こどもクラブ条例の改正について【こどもクラブを設置し、及び廃止し、並びに所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第24号	佐野市敬老祝金条例の改正について【祝金の対象者を改めるための改正】	原案可決	賛成多数
議案第25号	佐野市建築物等の適切な管理による生活環境の保全に関する条例の制定について【建築物等の管理不良状態の発生を防止し、及び解消するための措置等について必要な事項を定めるための制定】	原案可決	賛成全員
議案第26号	佐野市足利佐野都市計画事業駅南公園西土地地区画整理事業施行条例の改正について【土地地区画整合法施行令の改正に伴い、清算金の分割徴収に係る利率を改めるための改正】	原案可決	賛成全員
議案第27号	佐野市都市公園条例の改正について【佐野市運動公園テニスコートの夜間照明の設置に伴い、利用時間及び利用料金を改め、並びに所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第28号	佐野市営住宅条例等の改正について【市営住宅、再開発住宅及び特定公共賃貸住宅の入居者の資格及び連帯保証人の要件を改め、並びに所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第29号	佐野市水道事業企業職員及び下水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の改正について【佐野市職員の給与に関する条例の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正】	原案可決	賛成全員
議案第30号	白岩・作原辺地総合整備計画の策定について【辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律による、白岩・作原辺地に係る公共的施設の整備を図るための、白岩・作原辺地総合整備計画の策定】	原案可決	賛成全員
議案第31号	飛駒辺地総合整備計画の策定について【辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律による、飛駒辺地に係る公共的施設の整備を図るための、飛駒辺地総合整備計画の策定】	原案可決	賛成全員
議案第32号	秋山辺地総合整備計画の変更について【秋山辺地総合整備計画の変更】	原案可決	賛成全員
議案第33号	令和元年度佐野市一般会計補正予算(第9号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ144,449千円を追加、繰越明許費の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員

議案番号等	件名(内容)	議決結果	
議案第34号	令和元年度佐野市一般会計補正予算(第10号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ55,465千円を減額、継続費の補正、繰越明許費の補正、債務負担行為の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第35号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ72,882千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第36号	令和元年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ203千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第37号	令和元年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ18,766千円を減額、繰越明許費の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第38号	令和元年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ33千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第39号	令和元年度佐野市自家用有償バス事業特別会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ24千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第40号	令和元年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ980千円を追加】	原案可決	賛成全員
議案第41号	令和元年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ3,603千円を減額】	原案可決	賛成全員
議案第42号	令和元年度佐野市水道事業会計補正予算(第2号)【収益的収入の予定額に316千円を追加、収益的支出の予定額から98千円を減額など】	原案可決	賛成全員
議案第50号	令和元年度佐野市一般会計補正予算(第11号)【歳入歳出予算の総額からそれぞれ3,298,110千円を減額、繰越明許費の補正、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
議案第51号	令和2年度佐野市一般会計補正予算(第1号)【歳入歳出予算の総額にそれぞれ286,441千円を追加、地方債の補正】	原案可決	賛成全員
請願第1号	市立学校の教育条件を維持・発展させるため、学校事務職員配置と用務員の現行勤務時間の継続に関する請願(15ページに記載)	不採択	賛成少数

## 賛否が分かれた議案等

議案番号等	件名	賛	反	議員名 [議席番号順]																								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
議案第16号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について	20	3	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	議長	○	○
議案第24号	佐野市敬老祝金条例の改正について	21	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議長	○	○
請願第1号	市立学校の教育条件を維持・発展させるため、学校事務職員配置と用務員の現行勤務時間の継続に関する請願	2	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	議長	×	×	

※○=賛成または採択、×=反対または不採択  
 ※春山敏明議長は採決に加わりません。

## 議員案の審議結果

### 議員案第1号 佐野市議会政務活動費の交付に関する条例の改正について

#### ▼提出者

山菅直己議員

#### ▼賛成者

横井帝之議員、鶴見義明議員、若田部治彦議員、飯田昌弘議員

#### ▼条例改正の理由

政務活動費の交付を受けた議員が死亡した場合の政務活動費に係る収支報告書等の提出及び返還について定め、並びに所要の規定を整備するため。

#### ▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、議員全員の賛成により可決されました。

### 議員案第2号 佐野市議会委員会条例の改正について

#### ▼提出者

篠原一世議員

#### ▼賛成者

若田部治彦議員、岡村恵子議員、鈴木靖宏議員、亀山春夫議員、横田誠議員、慶野常夫議員

#### ▼条例改正の理由

市の組織機構の再編に伴い、建設常任委員会の所管を改めるため。

#### ▼審議結果

常任委員会への付託を省略し、議員全員の賛成により可決されました。

## 請願の審査・審議結果

### 請願第1号 市立学校の教育条件を維持・発展させるため、学校事務職員配置と用務員の現行勤務時間の継続に関する請願

#### ▼請願人

全栃木教職員組合 執行委員長 糸川祥一

#### ▼紹介議員

鶴見義明議員、岡村恵子議員

#### ▼請願の要旨

臨時採用の事務職員の配置と用務員の現行勤務時間を来年度以降も継続させて、市立学校の教育条件を維持・発展させること。

#### ▼審査・審議結果

経済文教常任委員会に付託され、審査の結果、賛成少数で不採択となりました。本会議においても、賛成少数で不採択となりました。



◀ 全文は、こちらから  
ご覧になれます。

令和2年

# 第2回佐野市議会定例会のお知らせ

令和2年第2回定例会の日程は、5月29日(金)の議会運営委員会で内定し、6月5日(金)の本会議で決定します。  
※日程は変更になることがあります。

5/25日(月)	26日(火)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)	31日(日)
		請願・陳情の提出期限(17:00)		13:30 議会運営委員会		
6/1日(月)	2日(火)	3日(水)	4日(木)	5日(金)	6日(土)	7日(日)
				10:00 本会議(議案説明)	休会	休会
8日(月)	9日(火)	10日(水)	11日(木)	12日(金)	13日(土)	14日(日)
休会	10:00 本会議(議案質疑)	10:00 本会議(一般質問)	10:00 本会議(一般質問)	10:00 本会議(一般質問)	休会	休会
15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)
9:00または10:00 建設常任委員会 13:30 厚生常任委員会	9:00または10:00 経済文教常任委員会 13:30 総務常任委員会	休会	休会	10:00 本会議(委員長報告、質疑、討論、表決)		

※建設常任委員会及び経済文教常任委員会は、付託された議案等の件数が6件以下の場合は午前10時に開会、7件以上の場合は午前9時に開会となります。

## 令和元年10月から令和2年3月までの佐野市議会で行った主な取り組み

- ★ 栃木県市議会議長会議員及び事務局職員研修会に出席 (令和元年10月 8日)
- ★ 台風第19号による被災箇所の現地視察の実施 (令和元年12月23日)
- ★ 第4回佐野市議会 議会報告会における市民の意見等を市長に報告 (令和元年12月27日)
- ★ 議員研修会(入札に関する研修)の開催 (令和 2年 1月21日)
- ★ 産業団地に関する講演会の開催 (令和 2年 1月31日)
- ★ 中小企業等グループ補助金及び自治体連携型補助金に関する説明会の開催 (令和 2年 1月31日)
- ★ 両毛六市議会議長会 議員研修会に出席 (令和 2年 2月 3日)
- ★ 栃木県議会議員と佐野市議会議員との懇談会の開催 (令和 2年 3月25日)

令和2年度を復興元年と位置付け、補正予算並びに被災地の早期復旧・復興に向けた取り組み等について議案審議が行われました。本年4月よりあそ野学園義務教育学校の開校や生活路線バスの運行開始などの49議案・追加議案2件を可決し、ほか請願1件が不採択となりました。また、重要注意の新型コロナウイルスの感染症対策に注力しましょう。(亀山記)

2月議会では令和2年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の予算審査が4日間にわたり行われました。

### 編集後記

編集委員会  
委員長 篠原 一世  
委員 川嶋 嘉一  
委員 菅原 達  
委員 久保 貴洋  
委員 亀山 春夫

本紙は再生紙を使用しています。

佐野市議会ホームページにおいて、議会の映像や会議録をご覧になれます。 [佐野市議会](#) 議会からこんにちは 2020.5.1 ⑩

佐野市議会事務局  
〒327-8501 佐野市高砂町1番地

電話：0283-20-3036 ファックス：0283-21-4411  
電子メール：gikai@city.sano.lg.jp